

## Brown Bag Seminar

No. 057

オンライン  
録画期間限定公開  
(Zoom)  
登録はこちら2022  
7.13 (水) 12:10  
12:50

- |             |        |
|-------------|--------|
| 12:10-12:15 | ◆ 演者紹介 |
| 12:15-12:40 | ◆ プレゼン |
| 12:40-12:50 | ◆ 質疑応答 |

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_yTytH8UPR72idPbJMMKEIlg](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_yTytH8UPR72idPbJMMKEIlg)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# 「支援する／される」からの脱却

## - 障害・認知症ケアの場における共創的アート活動の可能性 -

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

## 中村 美亜 准教授

芸術工学研究院 未来共生デザイン部門



障害・認知症ケアの場では、一方向的な支援のあり方が、当事者の尊厳を奪い、生きる意欲を失わせているという問題が生じています。「支援する／される」の関係が固定化され、支援者が被支援者を「豊かな可能性をもつ人間」と見ることができなくなるために、こうした問題が起きると考えられています。では、どうすれば「支援する／される」の関係から脱却できるのでしょうか？本セミナーでは、即興的で創発的な「共創的アート活動」をいくつか紹介しながら、障害や認知症の有無に関わらず、豊かな関係性を築く可能性、そして、それを社会に広げていく可能性について考えます。

米国ミシガン大学で修士号、東京藝術大学で博士号を取得後、東京藝術大学助教等を経て、2014年4月に九州大学に准教授として着任しました。専門は芸術社会学です。芸術活動が人や社会に変化をもたらすプロセスや仕組みに関する学際的研究を行なっています。特にアートとケアの関わり、ファシリテーション、評価に関心があります。ジェンダー／セクシュアリティ、多様性と包摂性に関する研究も数多く行なってきました。

2018-21年には文化庁との共同研究に従事し、編著『文化事業の評価ハンドブック—新たな価値を社会にひらく』（水曜社、2021年）を刊行しました。単著に『音楽をひらく—アート・ケア・文化のトリロジー』（水声社、2013年）、『クィア・セクソロジー—性の思いこみを解きほぐす』（インパクト出版会、2008年）などがあります。翻訳書『芸術文化の価値とは何か—個人や社会にもたらす変化とその評価』が近日刊行予定です。国立民族学博物館共同研究員、日本文化政策学会理事、アートミーツケア学会理事。